

Tokyo Adachi 大千住 マップ

スタンプラリー付

千住の歴史や文化を発見しながらゆっくり歩いてみよう。10ヶ所のスタンプポイントを巡りながら歩くのもおススメ。スタンプを自由に押してイラストを完成させてね。スタンプを7個以上集めると、千住街の駅で記念品がもらえるよ!

(記念品の交換は1回につき1人1個) ※休館日、祭事等でスタンプが押せない日もあります。ご了承ください。

閻魔様 (赤門寺)

千住を含む江戸四宿は江戸への入り口だから、それぞれ立派な閻魔様が庶民を見張って(?)おられる。千住では赤門寺(勝専寺)と金蔵寺、2ヶ所に鎮座。赤門寺では昔から続く、1月と7月の閻魔開き(縁日)で、お姿を拝める。



赤門寺の閻魔様

スタンプを7個以上集めたら、ココで記念品と交換!

千住街の駅

大正期に建てられた、もと魚屋だった建物がお休み処に。当時のショーウィンドウや色ガラスの意匠。関東大震災の後に建てられたと伝えられる「地震柱」などが残る。マップやイベント情報などが入手できる。



開館時間：9時~17時 (1/1~3は10時~16時) 休館日：火曜日(祝日と1/1~3を除く)・年末(12/29~31) ☎:080-6630-8037

富士塚 (大川町氷川神社) & (千住神社)

世界遺産登録で富士山が話題だが、千住には富士塚が3ヶ所ある。富士山信仰は江戸期に盛り上がりを見せ、直接行けない人のために、富士山から運んだ溶岩や土を埋め込んだ「富士塚」が各地に造られた。23区で4番目に古い大川町氷川神社の富士塚(1810年造)は、今でも自由に登れるほか、山開きの縁日も行われている。



大川町氷川神社の富士塚

矢立初めの芭蕉像

足立市場のそばに、筆を持つ松尾芭蕉の石像があり、近くにはベンチがある。千住は、芭蕉が奥の細道へ旅立った地として知られ、いくつもの記念碑などもある。市場の食堂等は一般の人でも利用できる。なので立ち寄りやすい。



「奥の細道」の俳句の一句目は千住で詠まれた

元宿堀記念碑

江戸時代、隅田川から引き込まれた水路がここにあり、元宿堀と呼ばれた。葛飾北斎の「富嶽三十六景 武州千住」は、この元宿堀の水門(元宿塚)から描かれたと推定されている。現地で北斎の絵を見ながら、当時の風景を想像してみよう。



空をとぶのは...?



少し足をのぼせば、今はスカイツリーが見えるかも?!

かんかん地蔵 (安養院)

その呼び名の通り、かんかんと小石で打って祈願すると願いごとかなうと言い伝えられるお地蔵さま。元禄12年(1699年)に造られたときから、打たれ続けてもとお姿がすっかり変わってしまった。たくさんの願いを込めた人々の思いと時間を感じさせる。



昔は目鼻立ちくっきり



心をこめてお願いしよう

甲良屋敷跡

江戸幕府に仕えた大工の棟梁、甲良家が、寛文10年(1670年)にこの場所に別邸を建てた。現在、千寿常東小学校のあるあたり、一万坪の広さだったそう。甲良家は、江戸城、日光東照宮など、江戸期、大きな建築物を手がけたことで有名。



宝暦2年(1752年)につくられた石碑が千寿常東小学校内にあり、屋敷の図面が記載されている。学校施設内のため見学できませんが、資料を「千住街の駅」で差し上げます。



柳原稻荷神社

路地と木デングキ(木の電柱につけられた裸電球)と商店街のまち柳原を守る鎮守。「柳原」の名にちなみ、住民の手で植えられた柳の木がある。昭和8年(1933年)につくられた富士塚も(通常非公開)。柳原のまち歩きの基本にしたい。



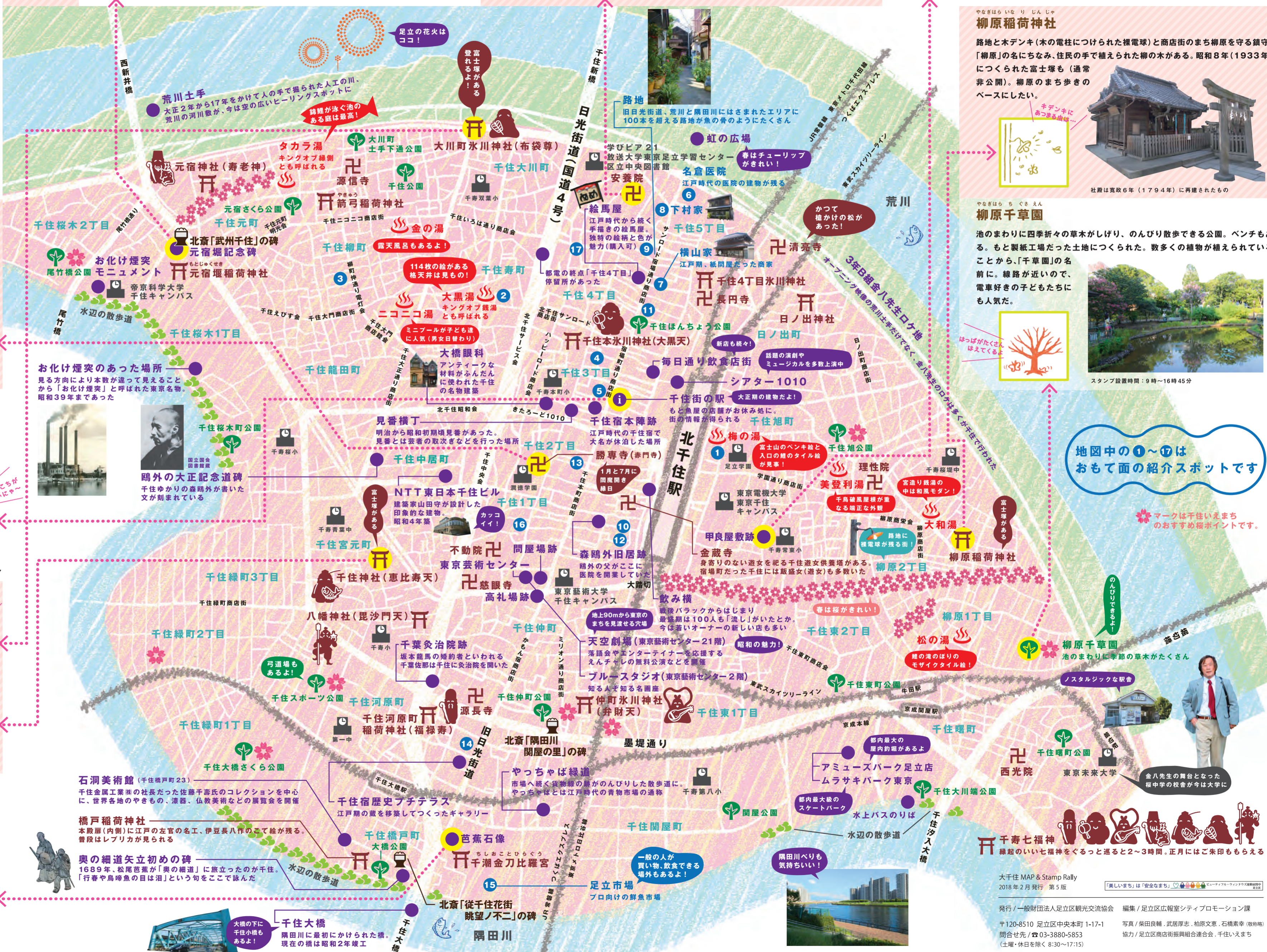
社殿は寛政6年(1794年)に再建されたもの

柳原千草園

池のまわりに四季折々の草木がしげり、のんびり散歩できる公園。ベンチもある。もと製紙工場だった土地につくられた。数多くの植物が植えられていることから、「千草園」の名前。線路が近いので、電車好きの子どもたちにも人気だ。



スタンプ設置時間：9時~16時45分



地図中の①~⑱はおもて面の紹介スポットです

マークは千住いまちのおすすめポイントです。

千寿七福神 縁起のいい七福神をぐるっと巡ると2~3時間。正月にはご朱印ももらえる

大千住 MAP & Stamp Rally
2018年2月発行 第5版
発行/一般財団法人足立区観光交流協会 編集/足立区広報室シテプロモーション課
〒120-8510 足立区中央本町1-17-1 問合せ先/☎03-3880-5853
(土曜・休日を除く 8:30~17:15)